



発刊日：平成29年9月

発行元：認知症疾患医療センター&認知症相談支援センター

協同で発行しています！

今年も厳しい暑さが続いています。酷暑日も続くと、脱水と共に心配なのが、認知症の方の徘徊です。今回のWITHは、徘徊されている方を早期に発見する名古屋市の取り組みをご紹介します。裏面には「コラム」と「認知症関係の行事予定」を掲載しています。是非ご覧ください！

●●認知症の方の「徘徊」とは...

認知症の症状の進行に伴って、人によって外出しても家に戻れずうろうろと歩き回ることがあります。認知症だからといって目的も無く歩き始めている訳ではなく、その方なりの目的や理由があります。ただ、認知症の症状から、外出する目的を忘れてしまう、目的を最後までやり遂げることが難しくなる、また、自宅の近くであっても自分のいる場所の見当がつかず、帰り道が分からなくなるなどの困りごとが出てくる特徴があります。



●●はいかい高齢者おかえり支援事業 ～名古屋市での早期発見の取り組み～

名古屋市では、認知症の方の徘徊による事故を防止するため、地域の皆さんの協力を得て、徘徊されている方を早期に発見する取り組みを行っています。

徘徊の恐れがある方の情報をあらかじめ登録し、その方が行方不明となった場合に、ご家族や関わっている介護関係者からの依頼を受け、行方不明となった方のお身体の特徴や服装、行方不明になった日時や場所などの情報をメールで配信し、情報提供をお願いするものです。

事業にご協力いただける市民の方に『おかえり支援サポーター』として携帯電話等の電子メールアドレスを登録していただいています。メールを受けとった際には、可能な範囲であたりを見渡していただき、記載のような特徴の方がいましたら、やさしく「お困りでは無いですか？」等声をかけていただき、最寄りの警察署までご一報ください。団体や企業として、『協力事業者』に登録いただくこともできます。

※はいかい高齢者おかえり支援事業に関する問合せ先

名古屋市健康福祉局高齢福祉部 地域ケア推進課（TEL 972-2549）

●●各区の取り組みとして ～徘徊模擬訓練の開催～

各区では、はいかい高齢者おかえり支援事業と連動して、年度内に1回、徘徊模擬訓練を開催しています。徘徊役の方への声のかけ方を通じて、認知症の普及啓発や地域での早期発見のネットワークづくりを進めています。徘徊模擬訓練は、区民まつりや学区ごとのイベントなどで実施されています。お近くで開催の際には、訓練に参加いただくとともに、是非とも『おかえり支援サポーター』にもご登録ください。

※各区の徘徊模擬訓練については、各区の区役所福祉課、いきいき支援センターにお問合せください。

問合せ先及び認知症に関する相談窓口

なごや認知症あんしんナビ

検索

名古屋市の認知症の情報はウェブサイトをご覧ください

認知症コールセンター 認知症の症状や介護等に関する様々な相談

◆名古屋市認知症コールセンター ☎052-919-6633

認知症疾患医療センター 専門医療、鑑別診断と治療、急性期対応等に関する相談

◆名鉄病院 ☎052-551-2802

◆まつかげシニアホスピタル ☎052-352-4165

◆もりやま総合心療病院 ☎052-795-3560



認知症疾患を診断するためには、医師などによる問診のほかに様々な検査をします。その中の一つに画像検査があります。画像検査は脳萎縮・脳血管障害・水頭症をみつけるCT、MRI 検査が広く知られていますが、放射性同位元素（ラジオアイソトープ Radio Isotope : RI）という微量の放射線を含む薬を使用して脳のはたらき（機能）を調べる検査もあります。この RI 検査には数種類の検査がありますが、なかでも脳の血の流れをみる「脳血流シンチグラフィ」という検査がよくおこなわれています。この検査では脳の血流を調べることで脳のどの部位で機能が低下しているかを調べることができます。認知症の原因疾患によって血流の低下する場所がそれぞれ異なります。例をあげると、アルツハイマー病においては、健常者と比べて脳の後部帯状回、楔前部という場所の血流が低下することが知られています。軽度の段階でもこの変化はみられるので「脳血流シンチグラフィ」をおこなうことで、CT や MRI だけよりも、より早期の診断が可能となり、現在では認知症疾患の診断になくてはならない検査の 1 つになっています。他にも自律神経（交感神経）の働きを画像化する「MIBG 心筋シンチ」や、中枢神経のドーパミンという神経伝達物質を調べる「DAT スキャン」などがあり、パーキンソン病やレビー小体型認知症を診断するために重要な検査です。

放射線と言われると、被ばくが心配という声を多く寄せられますが、1 回の CT 検査よりも被ばくの量は少なく、副作用などもほとんど報告されていない検査ですので、安心して受けていただければと思います。その他不安なことも多々あると思いますが、放射線検査を受けられる際には、主治医もしくは、担当の放射線技師にお話していただければと思います。

～認知症関係の行事予定～

詳細、申込方法等は問合先までお問合せください

◆9月12日（火）13：00～16：00

【熱田区・知って納得！地域で見守ろう認知症】（場所：イオンモール熱田）

9月の世界アルツハイマー月間にちなんで、認知症の正しい理解や早めの相談の呼びかけ、脳年齢チェックなど、認知症啓発活動を行います

問合先：熱田区いきいき支援センター ☎052-671-3195

★★11月～12月 認知症講演会を開催予定

◆10月12日（木）13：30～15：30

【守山区認知症講演会】（場所：守山文化小劇場）

「62歳の体験記。軽度認知障害！？」

フリーライターの山本朋史氏から、軽度認知障害と診断を受け、回復までの実体験についてご講演いただきます ※定員：400名

問合先：守山区東部いきいき支援センター ☎052-758-2013

◆10月15日（日）10：00～15：00

【きた福祉フェスティバル】（場所：北区役所）

「はいかい高齢者おかえり支援事業模擬訓練」

午前と午後の2回、はいかい高齢者役の方が会場内を歩きます。あなたならどのように声かけしますか？

問合先：北区東部いきいき支援センター ☎052-991-5432

北区西部いきいき支援センター ☎052-915-7545

★★9月12日（火）認知症カフェPRイベントを開催

◆10月26日（木）13：30～15：30

【中村区認知症講演会】（場所：中村文化小劇場）

渡辺哲雄氏による、認知症の方の自発的な意思を引き出す『ストーリー・ケア』の講演、めいらく寸劇グループによる朗読劇を実施します ※定員：350名

問合先：中村保健所保健看護担当 ☎052-481-2218

認知症相談支援センター- facebook では認知症イベント情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

<http://www.facebook.com/ninchishou.soudan>

◆11月8日（水）～12日（日）一部要申込

【みずほフェスタ '17】（場所：瑞穂区役所）

“福祉と医療の輪”をテーマに日替わりで開催 仮想現実（VR）による『認知症の世界』の疑似体験、認知症サポーター養成講座、作品展示他

問合先：瑞穂区役所区民福祉部福祉課 ☎052-852-9394

◆11月11日（土）13：00～17：00

【千種区第14回市民シンポジウム】（場所：千種区役所講堂）

名古屋大学脳とこころの研究センター渡辺宏久先生による講演『認知症の最新の研究と治療』 その他シンポジウム、認知症予防体操、介護に関する相談コーナー

問合先：千種区役所福祉課 ☎052-753-1839

千種保健所保健予防課 ☎052-753-1984

◆11月11日（土）10：00～16：00

【介護まつり in なか 2017】（場所：中区役所・中保健所）

東海テレビ庄野俊哉アナウンサーや若年性認知症当事者の樋口直美氏による講演会、介護サービス紹介・相談コーナー、健康チェック他

※「名古屋介護の日フェア」との連動開催イベント

問合先：中区いきいき支援センター ☎052-331-9674

★★9月14日（木）認知症市民講演会を開催

◆11月29日（水）13：30～15：30 要申込

【港区認知症市民講演会】（場所：港文化小劇場）

コグニサイズ（脳と身体を同時に動かす認知症予防あるいは改善プログラム）に関する講演（講師）国立長寿医療研究センター土井剛彦氏 定員：350名

問合先：港保健所保健看護担当 ☎052-651-6539

◆12月1日（金）12：45～17：00

【介護フェスタ in てんぱく 2017】（場所：天白文化小劇場）

講演「足・腰を強くして認知症を予防しよう！」（医療法人三仁会あさひ病院 猪田邦雄先生） 映画上映「話す犬を、放す」他 ※定員：350名

問合先：天白区役所区民福祉部福祉課 ☎052-807-3887